

後輩に時間を止められて…

先輩、遅いなあ～…

今日こそ、いつもなびいてくれない先輩を、私のものにするんだから！

…あ！先輩！やっと来た。遅いですよ。

ドア、閉めますね。

…よしっ。これで先輩と、教室に2人っきりです。

今日先輩を呼び出したのはね…

見せたいものがあるからなんです！

(ドラえものの秘密道具風に)じゃーん！「時間停止クロック」！！

ふふ、通販で買ったんです。

これを使うと、1日に1回だけ、時間を止めることができます！

これを使って…今から私が時間を止めて、先輩に好き放題しちゃおうと思います！

心配いりませんよ。私が時間を止めてる間に何かしても、先輩は何をされたかわからないんですから！

でも、止めてる間に、先輩をすっぱだかにして…恥ずかしい恰好をさせたりしてから、時間を動かすこともできるんです。

そんなのヤですよ？

そこで提案です！今ここで、私と付き合うって約束してくれたら、この時計は使いません。

さあ、どうします？先輩。

あ、その顔。さては信じてませんね？

後輩に時間を止められて…

私、実際に試しましたが、ほんとに止まりますよ。

え？『そんなのありえるわけがない』？

…ふーん。わかりました。じゃあ、私のおもちゃになってもらいまーす。

大丈夫ですよ。先輩にとっては一瞬ですから。

いきますね？3、2、1…カチッと…

(嬉しそうに)ふふ。ざーんねん、先輩。ほんとに止まるんですよ、これ。

ねえ、先輩？せーんぱい？聞こえないんですかー？

せーんぱい？せーんぱい？つんつん。つんつん。

ふふ。あっはっはっ！やった！やったあ…これで…先輩を…好き放題…うへへ…

じゃあ先輩…あそこ、見ちゃいますからね…

ズボン脱がして…よいしょ。ふふ、夢みたい。

パンツ、嗅いでもいいですか？

時間止まってるし、タメ口でいいよね？

敬語で喋ると…距離感じちゃうもん。

ねーえ、先輩。嗅いでもいいーい？

返事がないから、もう嗅いじゃうね。

…くんくん。くんくん。ああ～…これが、男の人のにおいなんだ…

後輩に時間を止められて…

…くんくん。くんくん。ヤバい、私、大好きかも…

もう、パンツ脱がすからね？

よいしょっ…と…

…うわぁ！！すご～い！想像通り、おっきいや。

でも、見た感じこれは…よかった、まだやったことないみたい。

先輩、触るよ？

…うわぁ…すごい…あったかい…

あっ！！だ、だんだん大きくなってきた！

手でつんつん触るだけで、びくんびくんって、動いてる！

私をもっと大きくしてあげるからね！

つんつん、つんつん。

…ふふ、すごく固くなってきてるよ！

…じゃあ先輩、私が手で気持ちよくしてあげるからね？

1回だけじゃないよ？先輩が出せなくなるまで、しぼり取っちゃうからね…

ほんとだったら、最初はゆっくりしこしこした方が気持ちいいのかもしれないけど…

今日は、何回もイってもらうんだから！最初からハイスピードでいくよ？

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

後輩に時間を止められて…

しこしこしこしこしこしこしこしこしこし！

ねえ、気持ちいい？どうなの？気持ちいいの？

もっと根もとの方から…

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

…あれ？もっと固くなってきたよ？

これが好きなんだね！

じゃ、もっと根もとからしこしこするね…

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

ゆっくりになって油断してるでしょ？

今度は先っぽのあたりを…

しこしこしこしこしこしこしこしこしこし！

しこしこしこしこしこしこしこしこしこし！

あーあ、ほんとに先輩の反応見ながらこういうことしたいのに…

先輩と付き合って、こういうことしたいのに…

ひどい先輩。全然相手にしてくれないんだからっ…

そんな先輩だから、こうやって私のおもちゃにされちゃうんだよ？

おちんちんだけでなく…たまたまでも遊んじゃうね！

つんつん…つんつん…

後輩に時間を止められて…

ふふ、先輩のたまたま…可愛い～！

つんつん…つんつん…

男の人の身体って、おもしろいなあ～！

さっきよりもっと激しくおちんちん動かしてみるね、先輩！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

なんかぬるぬるしてきたよ～？これ、もうすぐってこと？

うわ、すごいぬるぬるしてる…なんなのこの液…どんどん出てくる…

じゃあとりあえず、1回出しちゃおつか。

あと5秒ね！ちゃんと0で出すんだよ、いい？先輩！

5！4！3！2！1！ゼロっ！

ひゃっ！！うわっ！…すごい、いっぱい出たね…私の制服にかかっちゃったよ、先輩の精液。

こんなに暴発しちゃうなんて…(馬鹿にするように)いつもちゃんとおしっこできてるの？

賢者タイムとか知らないからね？

しこしこ再開しまーす。次もちゃんと出してよ？先輩。

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

後輩に時間を止められて…

あれえ？元気無くなってるよ、頑張って！

大丈夫、少しずつでいいから、持ち直してね！

でもスピードは、緩めてあげないけどねっ！

もっと強く握って…もっと激しく、動かしちゃう。

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

たまたまも…

つんつん…つんつん！

にぎにぎ…にぎにぎ！

どう？たまたま気持ちいい？

あ！ちょっと目を離れたすきに、おちんちんが元気なくなってるよ？

ちゃんとして、先輩！カッコ悪いよ？ほら、続けるよ？

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

じゃあ、2発目出しちゃおっか。

今度はあと3秒！0で出せるように、頑張って調節してね！

さーん！にーい！いーち！ぜーろ！！

…え、あれ…これだけ？

後輩に時間を止められて…

ちょっと先輩…これだけなの？

(見下すように)ダッッサ…2発目でこれしか出せないようなヘタレなの？

違うよね？初めて2回連続でやって、ちょっとハマしちゃっただけだよ？

じゃあさ、3回目で男らしいとこ、見せてよ！

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

大丈夫、先輩ならできるよ！

溜めこんでる濃厚な精液、私にかけてほしいの！

…うーん、最初の方はもっと固くなってたはずだよ。どうしちゃったの、先輩！

しょうがないなあ…私が足でしこしこしてあげる。

靴下のままだけど、いいよね別に。

椅子に座ってっと… じゃあ、足コキ始めるよ？

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ！

ふふ、ちょっと元気出てきた！

スピード早めるよ？

後輩に時間を止められて…

ししししししししししししししし！

しこしこしこしこしこしこしこしこし！

じゃあこのまま3発目、ぴゅっぴゅしちゃおっか。

あと5秒！

5!4!3!2!1!

(いじわるそうに)…と見せかけての！手コキに戻して延長戦だよ、先輩！

しこしこしこしこしこしこしこしこ！

しこしこしこしこしこしこしこしこしこ！

ふふ、しぼりにとってあげるよ。我慢汁も、全部。

ここまで頑張ったご褒美に、私のよだれ、ローション代わりに使ってあげる。

(よだれを垂らす)んっ…はぁ…

ぬりぬり...ぬりぬり...

…大丈夫、これで最後だから。

今まででいちばん速く動かすから、いちばん濃い、私の顔にかけて！

(速めに)しこしこしこしこしこしこしこ！ しこしこしこしこしこしこしこ！

じゃあイっちゃお？よく頑張ったね先輩！イっちゃおうね！出しちゃおうね！

3秒前！さ——ん！に——い！い——ち！

ぜー——ろ！出しちゃえ！

後輩に時間を止められて…

わっ！すごいつ…すごい先輩…あっはっは！すごい量…さすが先輩！

ほんとに顔にかけてくれた…嬉しい、嬉しいよ！

ふふ、今日はこのくらいで勘弁してあげる。

パンツもはかせてあげて…よいしょ。

ズボンもはかせてあげて…よいしょっと。

じゃあ、時間を動かしますね！カチッ！！

はい先輩。ありがとうございました、楽しかったですよ～！

え？『なんかヘンな匂いがする？』

そうですか～？気のせいじゃないですか？

はい？『なんかパンツがしゃっこい？』

え～！先輩、おもらしですか？やだなあ～。

…あ、気づいちゃいました？私の制服の胸のあたりにべっとりついてる、この白～い何か。

私の顔とか…髪にもかかっちゃってますね。

これ、何かわかります？

(いじわるそうに)…先輩の、いやらし～いおしるですよ！

先輩、気持ちよさそうでしたよ～… ぜったい私と先輩って相性抜群ですよ。

(小声で)ちょっと触られただけで、すーっごく、固くなってましたから。

後輩に時間を止められて…

ふふ。まあ先輩の記憶にはないでしょうけどね。

あれ？先輩、どうしたんですか？ポケットに手、つつこんで。

（ここから先輩が、連続で時間を止めて後輩をいたずらします。後輩はそれに気づきません。）

…ひゃあっ！！何！？いきなり私のパンツが…びしょびしょ…何これ！どうして急に！

はうっ！！ごほっ…ごほっ…今度は口になんか…液？みたいのが…いっぱい…

何これ？にがい…ごほっ…ごほっ…

さっきから、いったい何が…

…あれ？…ブラが無い！え…嘘、つけてきたのに！どういうこと？

…って、先輩！！なんで私のブラを持ってるんですか？いつの間に…

んっ！また口に苦いのが…ごほっ…ごほっ…

…あれ？先輩？どこ行っただの？急にいなくなっちゃった…

ん…？なんか紙が置いてある… あ！先輩の字で、なにか書いてある。

ええと…『やられたから、やり返しちゃったよ。僕の持ってるやつは、回数無制限です』

……へ？どゆこと？やり返し？回数無制限？

…まあいっか。それより口、ぬるぬるして気持ち悪い…

水、飲みにいこーっと。

作者:OS 様

後輩に時間を止められて…

<https://www.pixiv.net/novel/show.php?id=11741113>